

科目責任者 伊東 明彦 (治療評価学研究室)

■ 教育目的

主な疾患の病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療選択の組み立てが理解できる能力を養うために、主要な薬物について薬理作用、病態が体内動態におよぼす影響、重要な有害事象などについて、マルチメディアを活用し学習する。

■ 学習到達目標

1. 主な疾患に対し適切な薬物治療が提案できる。
2. 主な疾患の薬物治療において、効果および副作用のモニターができる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：関連する病態生理学、薬理学を復習しておく。

復習：関連する症例について治療計画を立案してみる。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	呼吸器疾患 1	呼吸器疾患総論、上気道炎、インフルエンザ	C14 (3) -3-1～2
2	呼吸器疾患 2	気管支喘息	C14 (3) -3-2～3
3	呼吸器疾患 3	慢性閉塞性肺疾患	C14 (3) -3-3
4	炎症と免疫疾患 1	アレルギー疾患（花粉症、アトピー性皮膚炎など）	C14 (4) -2-3 C14 (4) -3-2 C14 (4) -6-1～2
5	炎症と免疫疾患 2	自己免疫疾患Ⅰ（関節リウマチなど）	C14 (3) -6-3 C14 (4) -5-3
6	炎症と免疫疾患 3	自己免疫疾患Ⅱ（全身性エリテマトーデスなど）、免疫不全症候群	C14 (3) -6-4
7	消化器疾患 1	肝炎・肝硬変Ⅰ	C14 (2) -4-4
8	消化器疾患 2	肝炎・肝硬変Ⅱ、薬剤性肝障害、胆嚢・膵臓疾患	C14 (2) -4-4～6
9	消化器疾患 3	胆・肝・膵における悪性腫瘍	C14 (2) -4-6
10	消化器疾患 4	消化器疾患総論、胃炎、消化性潰瘍Ⅰ	C14 (2) -4-1～2
11	消化器疾患 5	消化性潰瘍Ⅱ	C14 (2) -4-2
12	消化器疾患 6	炎症性腸疾患、過敏性腸症候群	C14 (2) -4-3
13	感覚器疾患 1	眼疾患（緑内障、白内障）	C14 (4) -4-1～4
14	感覚器疾患 2	耳鼻咽喉科疾患	C14 (4) -2-1～3
15	薬物治療学補遺 1	症例解析	

■ 授業分担者

No.1～2：佐野 和美、 No.3～9、15：伊東 明彦、 No.10～14：大野 恵子

■ 成績評価方法

学期末試験（95％）および出席状況・授業態度（5％）で総合評価を行う。

■ 教科書

講義プリント

■ 参考書

今日の診療（MY-PORT >医療人 GP サイト内）

『図解「薬理学」』 越前（医学書院）

『薬剤師のための疾患別薬物療法』（南江堂、2011）